

令和 6 年度
「こどもの居場所に関する実態調査」
報告書

令和 7 年 4 月
鹿児島県 子ども政策局

目次

1. 調査の目的と現状.....	6
1.1. 全国の不登校に係る状況.....	6
1.2. 鹿児島県公立学校の不登校に係る状況.....	9
1.3. 子どもの居場所に係る全国における現状.....	12
1.4. 調査対象.....	14
1.5. 調査の仕様	15
1.6. 調査期間.....	15
1.7. 回収数	15
1.8. 調査内容.....	15
2. 調査結果について	16
2.1. 児童生徒対象の調査結果について（単純集計）	16
2.1.1. 回答者の属性について.....	16
2.1.2. 児童生徒調査の概況について	17
2.2. 児童生徒対象の調査結果について（クロス集計）	31
2.3. 児童生徒対象の調査結果について（自由記述分析）	131
2.3.1. 概要.....	131
2.3.2. 抽出語の出現回数.....	131
2.3.3. 共起ネットワークについて	132
2.3.4. テーマの内容と考察について	133
2.3.5. 全体の解釈	135
2.4. 保護者対象の調査結果について（単純集計）	137
2.4.1. 回答者の属性について.....	137
2.4.2. 学校外の相談先と各種相談・支援機関の利用状況	139
2.4.3. フリースクール、放課後等デイサービスの利用状況について	143

2.4.4. 施設利用による子への影響・変化.....	149
2.4.5. 子にとって好意的とされる活動内容	153
2.4.6. 施設への期待・要望	156
2.4.7. 子の将来、今後について	159
2.4.8. 学校に行けなくなったときに希望する支援や情報提供	160
2.4.9 子どもが学校に行けなくなった・行かなくなったきっかけ	164
2.5. 保護者対象の調査結果について（クロス集計）	166
2.5.1. 学校へ行っていない日数と学年、相談機関・支援機関利用との関係.....	166
2.5.2. 相談機関・支援機関の利用と圏域、校種との関係	167
2.5.3. 各相談機関・支援機関の利用状況と圏域、校種との関係.....	169
2.5.4. 相談機関・支援機関の非利用の理由と圏域、校種との関係.....	174
2.5.5. 情報提供による相談機関・支援機関の利用可能性と校種との関係	178
2.5.6. フリースクール、放課後等デイサービスを知ったきっかけと日数との関係	179
2.5.7. 施設選定理由と校種、日数との関係	180
2.5.8. 施設利用頻度と圏域との関係	181
2.5.9. 施設利用による子への影響・変化と校種、日数との関係.....	182
2.5.10. 子にとって好意的とされる活動内容.....	183
2.5.11. 施設への期待・要望	184
2.5.12. 子の将来、今後について	185
2.5.13. 学校に行けなくなったときに希望する支援や情報提供	187
2.5.14. 非利用者の相談機関・支援機関別利用意向.....	190
2.5.15. 子どもが学校に行かなくなった・行けなくなったきっかけ	195
2.6. 保護者対象の調査結果について（自由記述分析）	198
2.6.1. 相談機関・支援機関を利用しなかった理由.....	198
2.6.2. 相談機関・支援機関利用にあたっての意見や困りごとについて.....	210

2.6.3. お子様が学校に行けなくなったきっかけ（自由記述）について	221
2.7. 施設対象の調査結果について（単純集計・自由記述ほか）	234
2.7.1. 基本属性について	234
2.7.2. 施設の概要について	234
2.7.3. 在籍人数等について	240
2.7.4. 活動内容等について	243
2.7.5. フリースクール等の運営（入会金等）の状況について	248
2.7.6. 在籍校・関係機関等との連携の状況について	252
2.7.7. フリースクール運営の課題等について	255
3. ワークショップ形式での実態調査について	261
3.1. かごしま子ども・若者総合相談センター（ひきこもり地域支援センター）における 意見聴取の結果	261
3.1.1. 趣旨	261
3.1.2. 実施方法	261
3.1.3. 聴取する意見	261
3.1.4. 実施場所	261
3.1.5. 対象者	262
3.1.6. 実施期間	262
3.1.7. 倫理的配慮	262
3.1.8. 結果	262
3.1.9. 意見の概要	262
3.2. 「鹿児島市精神保健福祉交流センターにおける実態調査」による意見聴取の結果	265
3.2.1. 趣旨	265
3.2.2. 実施方法	265
3.2.3. 聴取する意見	265

3.2.4. 実施場所.....	265
3.2.5. 対象者	265
3.2.6. 実施期間.....	265
3.2.7. 倫理的配慮	266
3.2.8. 結果.....	266
3.2.9. アンケートによる意見の概要	266
3.3. 地域の特性に着目したワークショップ形式での実態調査	270
3.3.1. 趣旨.....	270
3.3.2. 実施方法.....	271
3.3.3. 聴取する意見.....	271
3.3.4. 対象地域と実施場所	271
3.3.5. 対象者	271
3.3.6. 実施時期.....	271
3.3.7. 倫理的配慮	271
3.3.8. 結果.....	272
3.3.9. ワークショップ形式による意見の概要.....	272
3.3.10. ワークショップ時に出た発言内容について.....	277
4. 調査結果に基づく有識者の分析について	283
4.1. 子ども領域の有識者の分析について	283
5. 調査票.....	287
5.1. 児童生徒票	289
5.2. 保護者票	299
5.3. 施設票	313
6. 執筆者一覧.....	324